

関節ファシリテーション学会 四国支部

-四国交流会-

No.2

第 19 回四国交流会

日 時：平成 27 年 2 月 8 日(日)

内 容：「基本的動作介助法, SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長, SJF 学会地方理事)

会 場：阿南医師会中央病院

今年最初の四国交流会が徳島にて行われました。今回は歩行の運動科学を中心に、これまでの交流会の内容を踏まえた応用編とも呼べるべきものとなりました。身震いするようなまでに洗練された技術の数々に圧倒されましたが、私たちの目指すべき臨床家としての方向性を改めて認識するとともに、決して諦めず自己研鑽することの大切さを学ぶことができました。また岡山県他、四国以外からも多数ご参加いただき、非常に盛況な研修会となりました。



築山先生はじめ、補助講師の先生方ありがとうございました。また次回もよろしくお願い致します。

第 20 回 四国交流会

日 時：平成 27 年 3 月 14 日(土)～3 月 15 日(日)

内 容：「医療から取り残される PT・OT」

講 師：吉野 孝広先生(大西脳神経外科病院 医療技術部 副部長, SJF 学会本部理事)

会 場：アスティ徳島(14 日)、阿南医師会中央病院(15 日)

四国交流会も 20 回目を迎え、今回は徳島にて SJF 学会本部理事の吉野孝広先生をお招きし、PT・OT の根深い問題と現状をテーマにご講義いただきました。

初日は脳梗塞急性期治療から運動と血液データの関係に至るまで、普段私たちの目にすることができる情報から何を考え患者の治療を行うか。そして二日目は実際の治療を動画等を通じてご指導いただきました。実際の臨床場面を見たことで参加された方々は刺激や衝撃を受け、実技練習にも熱が入ったせいでしょうか。あっという間に熱い二日間が過ぎてしまいました。



吉野先生ありがとうございました。この紙面では書ききれないほどの熱い想いが私たちに伝わりました。そして早くも続編を望む声が多数寄せられております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

第 21 回 四国交流会

日 時：平成 27 年 5 月 23 日(日)

内 容：「基本的動作介助法」「SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長)

会 場：香川労災病院 中央リハビリテーション部

昨年 10 月の香川開催の時と同じく、雨が気になるなか、それを吹き飛ばすような熱気で第 21 回四国交流会が開催されました。四国 4 県、岡山・広島・京都からも参加頂き、総勢 89 名という非常に多くの先生方が集まり、前回にも増して、盛況な交流会を開催することができました。

今回は、基本的動作介助法を初めて体験する先生方、実際に臨床で使っている先生方に対して、築山先生は細やかに対応され、ご指導していただきました。また S J F 技術では、あらためてその技術の繊細さと難しさを教えていただき、効果の差を体感することができました。

受講生からは「もっと練習したい」「難しさを改めて感じた」「自分自身の課題を見つけた」など、今後に向けて前向きな声が多く聞かれました。その参加する姿勢や態度、学ぶ熱意など、スタッフ一同、あらためて勉強させていただきました。また補助講師の先生方にも、何回もきてご指導いただき、大変勉強になりました。



築山先生はじめ、補助講師の先生方、本当にありがとうございました。今後も引き続き、ご指導の程、よろしくお願い致します。

第 22 回 四国交流会

日時：平成 27 年 8 月 2 日（日）

内容：「基本的動作介助法」「SJF 実技」

講師：築山 尚司先生 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 土長

会場：愛媛十全医療学院

じりじりと照りつける暑さにも負けず、第 22 回四国交流会が愛媛県で開催されました。「基本的動作介助法」「SJF 実技」をテーマに、四国 4 県のみならず、岡山をはじめ広島から 67 名の先生にご参加いただきました。今回も、大変盛況な講習会を開催することができましたこと、感謝いたします。

今回の交流会では、運動科学に則した、寝返りから歩行まで、一連の動作の介助法をご指導いただきました。その中でも、実際の症例（片麻痺、骨折等）をテーマに挙げていただき、実際の臨床現場で困っている問題に対してのヒントをいただきました。

SJF 技術では、日々進化する技術をご指導いただきました。手を添えて教えていただき、大変勉強になりました。ほんの一つの細かな動きで、動作の行いやすさや、その後の効果が変わることも体験でき、とても多くのことが学べる大変貴重な 1 日となりました。

今回学んだ知識、技術を復習して、1 人でも多くの患者が治療できるように日々努力していかねばならないと感じました。



築山先生をはじめ、補助講師をして頂きました先生方、本当にありがとうございました。

第 23 回 四国交流会

日 時：平成 27 年 11 月 15 日（日）

内 容：「基本的動作介助法, SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部付属病院 総合リハビリテーション部士長, SJF 学会地方理事)

会 場：高知リハビリテーション学院

高知での開催は 1 年半ぶりでしたが、築山先生をお招きし、今年最後の四国交流会を開催しました。前日 まで悪天候が続いておりましたが、当日は晴天となり上々の研修会日和となりました。午前中は SJF 技術を中心に休憩なしのノンストップで駆け抜け、午後からは動作介助法を中心にご教授頂きました。四国からも数名補助講師として参加させて頂きましたが、受講する側も補助講師として立ち回る側も関節の中の動きの繊細さや介助による動作の組み立て方など、その高度で難しい技術に頭を抱え四苦八苦しながらも切磋琢磨することができました。11 月中旬の涼しい時期でしたが、会場は熱気に包まれ、四国支部として今年最後の研修会も無事に終えることができました。



築山先生をはじめ、補助講師をして頂きました先生方、本当にありがとうございました。

第 24 回 四国交流会

第 24 回の四国交流会を岡山大学の築山先生をお招きし、徳島の地で開催させていただくことが出来ました。今回は基本的動作介助法と SJF 技術に加えて、症例検討も行っていただきました。実際の症例の動画を基に、先生が何処に着目し問題点を捉え、どのような方法や手順で治療や動作介助法を使用していくのかを、今までの四国交流会で教えていただいた方法も含めて再度練習しながら、より詳しく教えていただくことができ、非常に実りある研修会となりました。

その中で、築山先生の治療の組み立て方の緻密さや磨き上げられた技術のキレの良さに圧倒されながら、これからも自己研鑽を積み重ねて努力していくことの大切さを改めて教えていただくことができました。また、岡山県をはじめ四国以外からも多数のご参加をいただき非常に熱気のある有意義な研修会となりました。

築山先生はじめ補助講師の先生方、貴重なお時間を本当にありがとうございました。



第 25 回四国交流会

日 時：平成 28 年 5 月 7 日（土）、8 日（日）

内 容：「症例検討」「基本的動作介助法」「SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部付属病院 総合リハビリテーション部士長)

会 場：香川労災病院 中央リハビリテーション部

昨年と同じく、風薫る 5 月に第 25 回四国交流会を開催いたしました。四国 4 県、岡山・広島・京都・大阪・兵庫・山口からも参加頂き、総勢 91 名で、大変な熱気の中、四国交流会初の 1.5 日で行うことができました。

今回は、前回に引き続き、築山先生に、若手の先生方に向けた基本的動作介助法とその基礎となる考え方、また行う前の準備、また症例に対して、実際の臨床での使い方を、ご指導いただきました。

受講生からは「組み立て方など、具体的でわかりやすかった」「自分の未熟さを感じた」「奥深さと難しさを感じた」など、自分自身の課題を見つけられたようです。その参加する姿勢や熱意など、スタッフ一同、勉強させていただきました。また補助講師の先生方にも、わかりやすくご指導いただき、大変勉強になりました。



築山先生はじめ、補助講師の先生方、本当にありがとうございました。今後も引き続き、ご指導の程、よろしくお願い致します。

第 26 回 四国交流会

日 時：平成 28 年 8 月 20 日（土）～21 日（日）

内 容：「症例検討」「基本的動作介助法」「SJF 技術」

講 師：築山 尚司先生(岡山大学医学部附属病院 総合リハビリテーション部士長)

会 場：愛媛十全医療学院 3 階 多目的ホール

残暑の候、第 26 回四国交流会が愛媛県で開催されました。四国のみならず、遠方からも多くの先生方にご参加いただきました。大変盛況な講演会を開催することが出来ましたこと、感謝いたします。

今回は基本的動作介助法に加え、SJF 技術、症例検討と盛りだくさんの内容をご教授いただきました。実際の症例を基に問題点を抽出し、理学療法士、作業療法士として何が出来るか、何を治療するか、より詳しく教えていただくことができ、大変勉強になりました。また、SJF 技術では、繊細でキレのある治療に圧倒され、これからも切磋琢磨していくことの大切さを改めて教えていただくことができました。補助講師の先生方にも、わかりやすくご指導いただき、大変勉強になりました。

築山先生をはじめ、補助講師をしていただきました先生方、本当にありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

